

1 学期終業式講話

おはようございます。

先ほど来、オンラインで行っていますが、難しいですね。しかし校歌を歌ったり聞いたりするのはいいもので、昨日も野球部が頑張ってくれたおかげで校歌を歌うことができました。明日も是非頑張してほしいと思います。

さて、本日をもって1学期が終わります。6月初めの文化祭明けの朝礼で、学校を楽しむには受け身では駄目であるといったお話をさせていただきましたが、本日は探究学習について触れたいと思います。

探究学習は一言で言えば、自ら問いや課題を見つけ、調べ分析して結論を導くということです。これはある意味物事を他人事ではなく自分事として考えられるようにしようということではないでしょうか。本校の探究学習は、1年次でブレインストーミングやディベートを学び、2年次で市役所プランと個人研究、3年次は自分スピーチという流れで実施していますが、このような過程を踏んで学んでいる学校は県内では本校しかありません。

その中で、2年生は現在市役所プランで悩んだり苦しんだりしていると思いますが、それは当然のことで、富士市の問題点や課題点を探すことにやっきになっているとどうしても視野が狭くなりがちになります。自転車の交通事故をした人ならば道路事情や交通事情を実体験していますから、自分事として考えることができるでしょうけれど、福祉やまちづくり、防犯など漠然と考えていては進まないんですね。

つまり、その逆に富士市の良い点を探して伸ばそうという発想も大事かと思います。例えば観光客を呼ぶための魅力ある場所探しなど、その一例ですね。それでは、隣の方と富士市のどこへ案内するかを伝えてください。県外の方はもしこの夏休みに友だちが訪ねてきたらどこを案内しますか、これも同様に考えてみてください。

どうでしたか？ 案外案内場所が見つからなかった人が多かったのではなかったでしょうか。県外なら例えば浦安の人はディズニーランドでしょうし、長野市の人は白馬村でしょうか。つまりこれはおらが村の自慢なんです。自分の地域の魅力を生かすにはどうしたらいいかという発想です。富士に住んでいるならば富士山でしょう。36HRの皆さんは9月初めの集中研修で富士山を登りますが、新五号目からの雲海の眺めは素晴らしいものがあります。富士山を背景にした市役所プランを考えてみてください。

実は私自身、県庁勤務の時にロシアの舞台芸術団の方が来日してきました。ある日曜日に彼らを案内しろという命令が下りましたので、さあ困りました。仲間の職員と相談しましたがどれも帯に短し襷に長しでした。

ロシアと言えば港かなというのがひらめきました。ロシアの港は冬は凍ってしまうので、南下政策といって凍らない港を求める歴史をもっていました。そこで清水港を考えました。そこから駿河湾フェリーで伊豆半島の戸田を往復したらと考えましたが、幕末にプチャー

チンが日露交渉のためにディアナ号で来航した時に故障して、その修理のために戸田へ行く途中で沈んでいますから、これもあまりロシアの方にとっては縁起が良くない。

そこで富士山をバックとした清水港のクルージングを企画し、併せて昼食をとってもらうコースを設定しました。こういう発想で市役所プランを考えてみるのもいいのではないのでしょうか。

伊豆の入口の三島市には、三島スカイウォークという富士山をバックにした吊り橋があります。多くの観光客が訪れていますが、これを作った方は遊技業の方です。少しでも三島に来てもらうにはどうしたらいいのかを考えた結果、雄大な富士山を仰ぎ、吊り橋という空中空間を歩くという発想をしたんですね。今では三島市の名物となっています。これなど参考になるでしょう。

富士市の魅力発信のためにも、この夏大いに知恵をしばってほしいと思います。3年生は昨年やったことを思い出して進路の面接時に話してみてください。

最後に、暑い夏が続きそうです。熱中症には十分気をつけて過ごしてください。8月の終わりの2学期終業式でお会いしましょう。

以上で校長講話とします。

(令和8年7月22日、終業式)